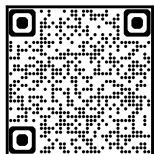


鳥海の子

HP
用
コ
ード

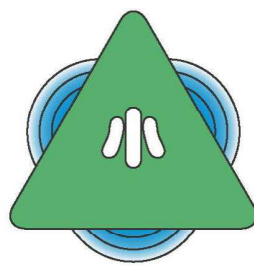


～明るく・かしこく・たくましく～

令和7年度 学校報 No.12 文責 校長 吉田 **

コミュニティ・スクールだより

由利本荘市立鳥海小学校 令和7年6月19日



「防災教室」～地震体験車で縦揺れ&横揺れを体感!

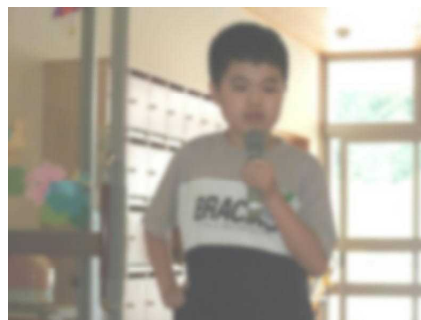
先週の12日(木)に、2、4、6年生の子どもたちを対象に防災教室を行いました。「保育園の時に地震体験車に乗ったよ!」とほぼ全員が経験済みで、中には「新緑まつり」に行ったときにも体験したという人もいました。

こうした経験は、いざという時に非常に役立ちます。まして心身の成長に伴い、耐える感覚や冷静に状況判断する力も変わっていくわけですので、何度経験してもこれで十分ということにはなりません。

消防署の方に教わった「お・は・し・も・ち」という避難時のキーワードを胸に刻み、落ち着いて対応するための心の準備を常に万全に!



【震度6強でこんな状況になってしまいます】



【左から2年**さん、4年**さん、6年**さんが堂々と体験して学んだことを発表しました!】

鳥海ダム本体工事「着工式」が行われました

先日14日(土)に、ダムの底に沈んでしまう百宅地区に式場が設けられ、ダム本体の着工式が行われました。120名を超える来賓に加え、国交省職員や建設会社職員、マスコミ等を含めると、200名を優に超える人たちが出席していました。地元の百宅そばが振る舞われたり、「前ノ沢太鼓」が式のオープニングを飾ったり、東京にある建設会社の本社と中継が結ばれ、鳥海ダム現場にある大型重機(無人)を遠隔操作で操縦するパフォー



マンスが披露されたりと、大々的なセレモニーが2時間ほど続きました。

鈴木知事や佐竹前知事、国会議員、県議会議員、市議会議員といったそうそうたるご来賓の皆様を前に、**主役を張ったのが6年生の****さんと鳥海中3年の****さん。**二人は、**地元の小・中学生（児童会・生徒会）の代表として「期待の言葉」を述べました。**二人とも、**実に堂々と立派にメッセージを伝え、式場内に「感心だなあ」「感動したなあ」という雰囲気**が漂いました。後日、全校の皆さんに録画した動画を見てもらおうと準備をしているところです。学校報では、****さんのメッセージ文をご紹介します。

期待の言葉

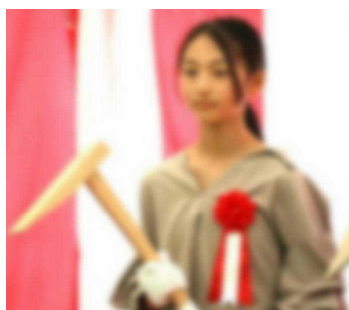
鳥海小学校 6年 ****



私の家は、鳥海ダムと同じ直根地区にあります。普段は鳥の鳴き声がのどかに聞こえる静かな場所ですが、ダムの工事が本格的に始まる前から、新しく道路が作られたり、家の前にダム事務所ができ、人の出入りが多くなったりと、周りの風景が変わっていくことにわくわくしていました。しかし、このダムができるにあたり、百宅という住み慣れたふるさとを離れ、工事に協力をしてくださった方々がたくさんいることを忘れてはいけません。みんなの気持ちが一つになり、鳥海ダムが造られていくのだと思っています。

昨年7月の大雨の影響で子吉川が氾濫し、私の身近なところでも大きな被害がありました。野球の練習で、同じ由利本荘市内の由利小学校や東由利球場に行くことがあります。練習に向かう途中で、山が崩れていたり、家の中に泥が入り、もう住むことが難しい状況になっていたり、これまで自分が体験したことのない、テレビで見るような大災害の映像と同じような光景が目の前に広がっていました。私はこの時にダムの役割について考えることができました。鳥海ダムができることで、洪水被害を減らすことができるそうです。またダムには、私たちの住んでいる地域の自然を守るため河川環境を整えたり、水道用水を確保したり、ダムの放流水を使って発電したりと様々な役目があるそうです。鳥海ダムのすぐ側には、日本の滝100選に選ばれている法体の滝があります。ダムが完成すれば、たくさんの人に美しい自然がある鳥海の魅力を伝える機会が増えるのではないかと思います。

このダムの建設にあたり、雪深い鳥海という慣れない場所で、朝早くから夜遅くまで作業にあたっている関係者の皆さん。どうか、お体に気を付けてお仕事をしてください。由利本荘地域の人たちが安心・安全に暮らせるため、そして私の大好きな鳥海の大自然を、何十年先まで守るためにも、工事が安全に進むことを願っています。



【約20名が横一列になって行った鍬入れ式でも二人の位置は中央】【無人機同士が遠隔操作でくす玉割り】

